

【声に出して読む】 俳句 松尾芭蕉 二

閑さや 岩にしみ入る 蟬の声

しずけさや いわにしみいる せみのこえ

旅に病んで 夢は枯野を かけ廻る

たびにやんで ゆめはかれのを かけめぐる

初しぐれ 猿も小蓑を ほしげ也

はつしぐれ さるもこみのを ほしげなり

冬枯れや 鴨の足引く 氷の上

ふゆがれや かものあしひく こおりのうえ